

# カトリック河原町教会だより

## 2020年7・8月

### 教皇フランシスコ 祈りについての連続講話 ダビデの祈り（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、おはようございます。

（一般謁見演説より）

祈りに関する講話の旅の途上で、今日はダビデ王と会います。福音書の中でイエスは幾度も「ダビデの子」と呼ばれます。実際、イエスはダビデと同じく、ベツレヘム出身です。ダビデの子孫から救い主が現れることは、約束されていたことです。その行いは御父の救いの計画を忠実に実現させるものです。

ダビデの物語は、ベツレヘム周辺の丘の上で始まります。ダビデはそこで、父エッサイの羊の番をしていました。彼はまだ小さく、大勢の兄弟の末っ子です。ですから神に命じられて預言者サムエルが新しい王を探しに来た際、父親はこの末息子のことをほとんど忘れていました。

このようにダビデは最初、家畜の世話をし、予期せぬ危険から家畜を守り、餌を与えて養う羊飼いでした。神のみ旨により人々の世話をすることになったときに彼がとった行動は、このときのものときほど違いはありません。ですから、聖書には羊飼いが何度も登場します。イエスも、欲得尽くの人とはまったく違う、「よい羊飼い」としてご自分のことを説明しています。羊のためにいのちをささげ、羊を導き、一匹一匹を名前を知っておられるのです。ダビデはこの最初の仕事から多くを学びました。



ダビデの生涯には、あらゆる出来事をつなぐ一本の赤い糸がありました。それこそが、彼の祈りです。

人生においてさまざまな無数の試練に遭遇した際にも、祈りはすべての人の旅路の真の同伴者である神との結びつきを確かにすることができます。

フランシスコ

### 河原町教会の様子





## 福音宣教

洛東ブロック担当 瀧野 正三郎神父

「福音宣教」という言葉は、最近では、教会で普通に使われるようになりました。しかし、振り返ってみますと、昔から使われていたわけではありません。以前は、「布教」という言葉が使われていました。それが、どうして「福音宣教」という言葉に変えられてきたのでしょうか。

1962年～1965年に開催された「第二バチカン公会議」の公文書の事項索引を見ますと、「福音化(福音宣教) evangelizatio(evangelizzazione)」があります。

### <教会憲章>

375 信徒は、信仰による生活に信仰の宣言をためらうことなく一致させるなら、希望することがらに対する信仰の強力な伝達者となる。この福音化、すなわち生活のあかしとことばによるキリストの告知は、それが世の普通の生活の中で行われるということから、ある独特の性格と特別な効力をもつ。

377 信徒は、現世的な仕事に従事しているときでも、世の福音化のために崇高な働きをすることができ、またそうしなければならない。

### <信徒使徒職に関する教令>

917 信徒は、同じようにキリストの祭司職、預言職、王職に参加するものとされ、神の民全体の中で自分なりの役割を教会および世において果たしている。信徒は事実、福音化と人々の聖化に努め、また現世的秩序に福音の精神を浸透させてこれを完成するように努めることによって、使徒職を果たすのである。この現世的秩序における信徒の働きはキリストをはっきりとあかしするものとなり、人々の救いに奉仕するものとなる。この世のただ中で生活し世俗の仕事に携わることが信徒の身分に固有のことであるため、彼ら自身、キリスト教的精神に燃えつつ、パン種としてこの世において使徒職を果たすように神から召されているのである。

934 信徒には福音化と聖化という使徒職を行う機会が無数にある。キリスト教的な生活そのものによるあかしと、超自然的な精神で行う善行は、人々を信仰へまた神へと引き寄せる力をもっている。

989 教会の使徒的目的は、人々に福音をのべ伝え、人々を聖化し、人々の良心をキリスト教的に育成することであって、そうすれば、福音の精神をさまざまな共同体やさまざまな分野に浸透させることができるのである。

1032 信徒は、人々に福音をのべ伝え人々を聖化するという使徒職に関しては、信者であれ信者でない人であれだれとでも対話を行うことができるように、またキリストのメッセージをすべての人に明らかに示すことができるように、特別に養成されなければならない。

### <教会の宣教活動に関する教令>

1212 教会のすべての子らは、世に対する生き生きとした責任感を持ち、自分自身のうちに真に普遍的な精神をはぐくみ、福音宣教の働きに力を尽くさなければならない。

1975年に発表された教皇パウロ六世使徒的勧告「福音宣教」(ペトロ文庫)を読まれることをお勧めします。





### 3カ月ぶりにミサ開催

2020年6月20日(土)9:00よりミサ(集会祭儀)・集会・講座が中止されてから、3カ月半ぶりにミサが開催されました。手の消毒や、十分な距離を置いて着席するなど感染症対策がとられ、ミサ後は座席の消毒も行われました。聖歌を歌うことはできませんでしたが、参加者はご聖体を頂き教会に集う喜びを分かち合いました。

感染者が再び増加しだしたため、7月5日(日)10:30に予定されていたミサはみことばの祭儀に変更され、その後公開ミサは行われていません。7月7日に「新型コロナウイルス感染症についてミサ等の休止・再開の措置(その6)」にて、新しい基準が示されました。当該地域の直近1週間の新規感染者の合計が7名未満なら、感染防止対策を行ったうえで、ミサ等を再開できます。それを超えると休止です。

新型コロナ感染症により苦しんでいる多くの方々がおられる中、一日も早い終息を願い犠牲と祈りをささげたいと思います。

(注:参加者分散の為、土曜日午前9時の主日ミサが追加されました。7/19 ミサライブ配信を開始(洛東ブロック))



### 平和旬間を迎えて



毎年8月6日～15日を「平和旬間」とし、教会は平和を祈るために様々な行事を行ってきました。今年は新型コロナウイルス感染症という世界に広がる脅威に見舞われ、すべての行事は制限を受けています。以前大塚司教は、平和とは神の秩序を生きることとおっしゃいました。神の秩序を形作るのは愛です。すべての「いのち」が、神の与えた役割を神と共に生きるなら世界は平和です。

他の生き物と違って人間だけは、神を見失う危険性をもっています。創世記3章に、人祖は悪魔の誘惑に負けて神に背き、樂園から追放されたとあります。愛を注いで人間を作り、美しい地球を与えてくださった神の失望は大きかったと思います。人間が神に与えた苦しみを、イエス様は身代わりとなり償ってくださいました。

イエス様の贖いにより、人間は神と和解し、心に樂園を取り戻せるようになりました。この出来事を伝え、世界に平和をもたらすようにキリスト者は招かれています。

すべての人間がイエス様に会い神の秩序に戻るまで、キリスト者はそれぞれの場所で働かなくてはなりません。多く受けたのだから多く与えなくてはならない。

今もなお、人間は神に背き続けています。神に立ち返るまで、世界に平和は訪れないでしょう。  
(広報部員)

#### 平和旬間行事の思い出

かなり昔のことですが、平和旬間中の日曜日の午後「平和行進」というものがありました。河原町教会を出発し、「アーメン・ハレルヤ」などの聖歌を歌いながら円山公園まで行進しました。歩道からの視線を気にしつつ、プラカードを掲げて車道を歩きます。毎年参加の方々は恒例行事なので、周りを気にせず堂々と歩いておられました。

行進は円山公園へ到着後、現地解散しました。歩いている時は、暑くて大変でしたが、終わってみると、気分は爽やかでした。平和の祈りが神のもとへ届き、真の平和が訪れることを願います。



#### ラウダート・シ特別年

2020年5月24日～

2021年5月24日

回勅「ラウダート・シ」を考察すると共に、私たちの「共通の家」である地球と最も弱い立場にある兄弟姉妹たちを守りましょう。



◇2020年8月～10月の行事予定◇ (予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
8	6	木	[主の変容] 日本カトリック平和旬間(～15日)
	9	日	[年間第19主日]
	15	土	[聖母の被昇天] 7:00、10:30 ミサ(予定) 9:00、18:30 主日ミサ(予定)
	16	日	[年間第20主日]
	23	日	[年間第21主日]
	30	日	[年間第22主日]
9	6	日	[年間第23主日] 被造物を大切にす世界祈願日
	13	日	[年間第24主日] 聖地のための献金
	20	日	[年間第25主日] 10:30 敬老感謝ミサ(対象者・予定)
	27	日	[年間第26主日] 世界難民移住移動者の日(献金)
10	4	日	[年間第27主日]
	11	日	[年間第28主日]
	14	水	聖ペトロ使徒座への献金
	18	日	[年間第29主日] 世界宣教の日(献金)
	25	日	[年間第30主日]

**お知らせ (敬称略)**

## ◆洗礼と堅信 おめでとうございます

2020.7.12 メアリーオブ・マグダラ エリカ・ナオミ・アマンク

2020.7.12 アンナ・フランシスカ 岡田 真紀

2020.7.12 マリア・ファティマ 中畑 正大

2020.7.12 フアナ・デ・ラ・クルス 中畑 麻紀

2020.7.12 クララ・ゴダイバ 森戸 順子

2020.7.12 ベルナデッタ 宇野 利香

## ◆洗礼 おめでとうございます

2020.6.20 マリア・テレジア・ガブリエラ 馬場 千遙

## ◆転入 ようこそ 河原町教会へ

2020.6.2 マリア 鈴木 みつ子

2020.6.2 小さきテレジア 安藤 眞美

2020.6.2 ガブリエラ 安藤 晟

2020.6.2 レオナルド 安藤 奏

2020.6.2 セシリア 内藤 杏奈

2020.7.26 使徒ヨハネ 大幡 正義 2020.7.26 マリー・マドレーヌ 大幡 晋子

## ◆転出 どうぞお元気で

2020.7.17 ヴィアンネ 中 徹 2020.7.17 マリア・テクラ 中 磯子

2020.7.17 お告げのマリア 中 実穂 2020.7.17 マリア・ガブリエラ 中 恵菜

## ミサの時間(再開時)

主日のミサ

土曜日 9:00 18:30

日曜日 7:00 10:30

\*英語 12:00 (第2・4週)

(ミサ再開の有無や最新の情報はウェブサイトを確認してください)

## 講座の時間(中止の場合も有り)

初めての方向け

洗礼準備講座(菅原神父)

木曜日 10:00

金曜日 17:30

土曜日 11:00 15:00

信仰入門講座(瀧野神父)

金曜日 19:00(9月開講予定)

信徒向け(開講中)

信徒養成講座

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を読む会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

信徒向け(9月開講予定)

「福音宣教」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父・「よく分かる聖書の学び」の日は休み)

「ヘブライ人への手紙」を読む  
毎月第1土曜日 19:30(菅原神父)  
(英語)聖書勉強会

毎月第4日曜日 14:00(Sr.ロサ)

初めての方向けは事務室か

rakuto.nyumon.class@gmail.com

まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2020.7・8 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者: 洛東ブロック司牧チーム

TEL: 075-231-4785 FAX: 075-211-8021 URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>